



**中小企業の未来を守るデジタル
化：人手不足、コスト増加、競争
力低下にどう対応？**

中小企業が直面する人手不足、コスト増加、競争力の低下への対応策を解説します。

01

目的

このプレゼンテーションは、中小企業が直面している課題を明確にし、それに対する効果的な解決策を提案することを目的としています。

02

背景

人手不足やコスト増加、競争力の低下は中小企業の持続可能性に大きな影響を与えています。これらの課題に直面する現状を理解し、適切に対応することが重要です。

人手不足、コスト増加、競争力の低下が中小企業に与える影響

これらの課題は中小企業の持続可能性を脅かし、即座に対応が必要です。

01

人手不足の影響

中小企業の生産性低下やサービス提供の遅延につながり、顧客満足度を下げる要因になります。

02

コスト増加の影響

原材料費や労働コスト、物流費の増加は利益率を圧迫し、中小企業の財務健全性を損ねます。

03

競争力の低下

国内外の競争が激化する中、デジタル化や技術革新に遅れることで市場シェアを失います。これにより、長期的な成長が阻害されます。

労働市場の現状と中小企業が直面する人手不足の深刻な問題を具体的なデータを用いて解説します。

01

労働市場の現状

労働人口が減少する一方で高齢者の退職が増加しており、即戦力となる若年層が不足しています。これにより中小企業は適切な人材確保が難しくなっています。

02

具体的な人手不足の問題

例えば、製造業では技術者の不足が深刻であり、受注の対応が遅れ売上減少につながっています。これにより競争力の低下が顕著です。

労働人口減少による課題をどう乗り切る？今すぐ企業が着手すべき4つの対策

<https://product.sct.co.jp/blog/automate/declining-working-population-issues>

原材料費、労働コスト、物流費の増加により、中小企業の経営が圧迫される現状を把握する必要があります。



01 原材料費

02 労働コスト

03 物流費

3年間の上記コストの売上比率トレンドと営業利益率トレンドを是非まず調べて下さい。

手作業やExcel依存による業務プロセスの非効率性が中小企業の生産性を低下させている。



手作業の現状

手作業によるデータ入力や書類管理は、エラーのリスクが高く、追加の時間とコストが発生します。欲しいのは紙か？情報か？と問うとデジタル化が見えてきます。

EXCEL ↘ ↘

Excelの限界

Excelによるデータ管理は一時的な解決策に過ぎず、大量データの処理能力や共同作業の効率性に限界があります。結果、意思決定が遅延します。



非効率性の事例

例えば、ある中小企業では手作業により月次報告書の作成に平均30時間を要し、最終的にデータの整合性に問題が生じ、業務の再実施が必要になることが多々あります。

人手不足とコスト増加が中小企業に与える影響を具体的な事例で示し、デジタル化の必要性を強調します。

人手不足の影響

中小企業の68%が人手不足と感じており、そのうち64.1%が「非常に深刻」または「深刻」と答えています。特に、介護・看護業（86.0%）、建設業（82.3%）、宿泊・飲食業（79.4%）などで高い割合が見られます

<https://edenred.jp/article/hr-recruiting/110/>

<https://www.baitoru.com/solution/column/smaller-companies-labor-shortage/>

<https://www.baitoru.com/solution/column/smaller-companies-labor-shortage/>

コスト増加の影響

小規模企業では、営業利益の回復ペースが緩慢であり、コストの増加を販売価格に転嫁することが難しい状況です

手作業やExcel依存の業務はデジタル化と自動化によって効率化させ、人材不足やコスト増加の問題を解消します。



手作業の効率化

自動化ツールは、手動で行われていた作業を自動化することで、業務の効率を大幅に向上させます。これにより、ヒューマンエラーのリスクが減少し、担当者の負担が軽減されます



Excel依存の解消

データの一元管理: Excelファイルが個々のPCやファイルサーバに分散している場合、それらをデータベースに集約することで、データの一元管理が可能になります。これにより、情報の可視化が進み、組織内でのデータの共有が促進されます

https://kobot.jp/kobot_lab/dx/automation-tools/

<https://www.sei-info.co.jp/webdatabase/column/excel-efficiency/>

効率的なリソース配置、スキルアップ、外部リソース利用で人的リソースの最適化を実現します



リソースの効果的配置

管理職が社員のリソースを効率的に配置することで、業務効率を向上させ、生産性を最大化します。適材適所に配置することでパフォーマンスが向上します。



スキルアップの促進

社員のスキルアップを促すことで、社内での成長機会を提供し、モチベーション向上に繋がります。継続的なトレーニングで専門知識と技術の向上を目指します。



外部リソースの活用

必要に応じて外部の専門家やアウトソーシングを活用することで、コスト削減と業務の最適化を実現します。専門的なスキルを取り入れ、効率化を図ります。

デジタル化は中小企業の人手不足、コスト増加、競争力低下の課題を解決し、持続可能な成長を実現します。



現状と課題の総括

中小企業は人手不足、コスト増加、競争力低下という深刻な問題に直面しています。これらの課題は企業の持続可能性を脅かし、経営に直接的な影響を与えています。



デジタル化による解決策

デジタル化と自動化は業務プロセスの効率化を促進し、人手不足を補い、コスト削減を実現します。これにより競争力を向上し、持続可能な成長をもたらします。



今すぐ行動を

経営者はデジタル化への投資を積極的に検討し、迅速に実行に移すべきです。この対応が未来の企業の成功と持続可能な成長に繋がります。

現在の課題に迅速に対応することで、中小企業の未来を守り、競争力を向上させましょう。

迅速な対応の重要性

課題解決を遅延させると、競争力の低下とコスト増加を招きます。早急に行動することで、長期的な利益が得られます。

中小企業の持続可能性

劇的な変化に気づき、これに適応する企業のみが持続的な成長を実現できます。迅速な対応がカギです。

具体的なアクションプラン

デジタル化、自動化、リソースの最適化を今すぐ開始しましょう。これにより、即効性のある効果を期待できます。